

茨木市 市民活動のコンセプト

楽しい活動が
誰かの人生を
豊かにする



市民活動のコンセプトとは、茨木市の市民活動に関わる皆さんにとって、活動の指針になるものです。
このコンセプトの実現を目指して、市民活動センターが皆さんをサポートします。

たのしむ

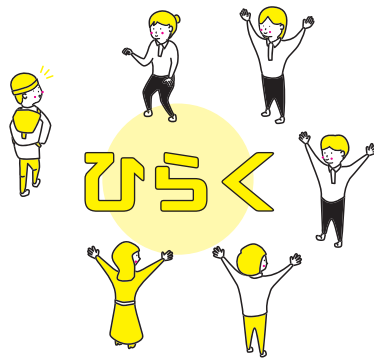
まずは自分自身が楽しんで活動すること。楽しい活動は共感を生みます。そして自分のことばかりではなく相手を思いやることも大切です。楽しさを伝えるために、市民活動に参加する人も、活動する人も人生が楽しく充実したものになることを目指しましょう。

市民活動を楽しむために大切にしたい3つのこと



うごく

自分が興味をもったり、やってみたくて思ったことは小さなことでもいいから動き出してみよう。動き出すきっかけは、誰かとの出会いからかもしれません。視察に行ったり、誰かの活動に参加してみたり。でも時には立ち止まって自分の活動を考えてみる時間も大切にしましょう。



ひらく

自分の活動を人に知ってもらおうと、新しい仲間が増えるかもしれません。また、人に見つけてもらいやすい場所で活動することで、いろいろな人が参加することができます。少しの勇気を持って誰かに向けて活動をひらいてみることで、いろいろな気づきが得られるかもしれません。



まなびあう

人生100年時代。多様化する価値観、変化の大きな時代では学び続ける必要があります。一人ではなく誰かと学んだことを共有する、学び合うことで、より大きな学びを得ることができます。誰かとじっくり話をしてみたり、お互いの活動に参加してみたり、学び合うことを意識してみましょう。

市民活動のコンセプトがでるまで

いばらきひらこか ワークショップで市民の皆さんと一緒に考えました

茨木市では令和5年度に、新施設「おにクル」が市民会館跡地エリアにオープンします。その7階に市民活動センター（以下、センター）が移転します。新しいセンターでは、中と外をつなぐ縁側のように、人と人、人と活動、人とまち、人と団体など様々な人をゆるくつなぐ役割を展開し、誰もが訪れたくなる「みんなのえんがわ」となるような運営を検討しています。そんなセンターが市民活動をサポートするのに必要な役割を考えたワークショップが「いばらきひらこか」です。ワークショップには市民活動に取り組む方々が参加しました。新施設のコンセプトや市民活動のあり方を学び、お互いの活動を体験し合いながら、茨木市の市民活動のコンセプトをつくりました。このコンセプトの実現を目指して市民活動をサポートすることが、センターの役割となります。



いばらきひらこかの進め方



学ぶ・話し合う



活動を実践・観察する



コンセプトをつくる

「ひらこか手帳」に学びや気づきを記入する

参加者の意見

たのしむ

新施設は人生が詰まった建物だと感じた。私たちはこの施設に集まる人々の人生を豊かにする活動をするんだと実感した。

皆さん自分の活動に自信を持っていて、何より楽しんでいたので、私たちも心配せずに楽しめた。楽しむことはとても大切だと思った。

うごく

人と会う方が先！その中から生まれたものを形にしていく。

大きなイベントばかりでは市民活動ももたない。日常的な小さな社会実験も大事。

ひらく

こんな活動があるのかと自分の視野が広がった。興味のある活動が増えた。

自分の活動だけでなく、他の団体の活動を見ることにより、いろいろ新しい発見があった。

まなびあう

学び続けたい。学ぶことで活動の幅も広がる。市民活動に新たな気持ちで取り組める気がする。

なにかに興味を持ちたり、一緒にやってみたいと思う事自体が役に立っていることに繋がる。

※ひらこか手帳…ワークショップ専用のオリジナルノート

発行元・問い合わせ先

茨木市
市民文化部 共創推進課

☎ 072-655-2757 [FAX] 072-623-3025

✉ kyouso@city.ibaraki.lg.jp